

ふれあい情報

2016年 11月 15日 (火) 第239号

■発行 日本退職者連合

■発行人 菅井義夫

■連絡先 〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

TEL 03-5295-0507 FAX03-5295-0541

<e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

<ホームページ> 「退職者連合」で検索してください。



▲竹林課長の説明に熱心に聞き入る参加者。(11月7日、連合会館)

介護保険制度をテーマに学習会開く(11月7日)

持続可能な制度にすることが重要

竹林課長

退職者連合は、「介護保険制度をめぐる問題について」をテーマに11月7日午後1時30分から連合会館2階会議室で学習会を開催しました。産別関連退連をはじめ北海道、千葉、新潟、岡山、高知、長崎などの地方退職者連合も含め、会員80名が参加しました。講師は、厚生労働省老健局介護保険計画課長の竹林悟史課長。パワーポイントを用い、一〇〇ページを超える資料を示しながら介護保険制度をめぐる問題について、次期制度改正の検討状況を中心に説明がありました。

講演で竹林課長は、次期制度改正に向けた厚労省社会保障審議会介護保険部会での主な検討内容を紹介し、とくに地域包括ケアシステムの推進や持続可能な介護保険制度の確保に取り組みることが重要と述べました。

さらに保険者等による地域分析と対応、ケアマネジメンツのあり方、介護人材の確保、軽度者への支援のあり方や福祉用具・住宅改修といった給付サービスのあり方、負担のあり方について説明しました。今回の介護をテーマとし



▲竹林悟史 課長

た学習会は、8月の年金学習会に続くものです。介護を巡るテーマは、地方退職者連合が毎年地域で実施している自治体要請の中で大きな比重を占めています。要請行動に連動してこうした学習会が開かれたことは、行動する退職者連合の取り組みといえます。実際に質疑応答では、この自治体要請で見えてきた問題点をベースに発言がありました。なお、退職者連合では、今後、医療制度問題についても学習会を開催する予定です。

(主な質問要旨)

・地域包括ケアシステムにおける県の役割は何か。地

域で要請行動を行った結果、小さい市町村ほど介護人材不足になっていることがわかった。県が責任をもって人材養成するべきなのではないか。(岡山退連)

・地域包括ケアシステムでは、市町村が主体となり、医療と介護の連携を図っていくことが必要ではないか。(神奈川シニア)

・無届け有料老人ホームについて、厚労省発表の数とNHK発表の数が違う。この差はどういうことか。(神奈川シニア)

・消費税10%への引き上げが延期になったことで、社会保障費が締め付けられ、社会保障のひずみが生まれているのではないか。(神奈

(二面に続く)

「給付型奨学金制度創設等を求めるアピール」 阿部会長が賛同呼びかけ人へ

奨学金制度の改革に取り組む中央労福協(神津里季生会長)から、給付型奨学金制度の創設を柱とする奨学金制度の改善、教育費負担の軽減等を求めるアピールへの賛同と呼びかけ人就任の要請がこのほどありました。

退職者連合では、阿部保吉会長が呼びかけ人として名前を連ねました。

中央労福協では、貸与から給付

へ、有利子から無利子への流れをつくり、よりよい奨学金制度に改善するために、今秋から来年の通常国会にかけて、関係省庁、国会議員、政党等への要請行動を行ないます。

また11月14日には、中央労福協などが主催して「奨学金制度の拡充を求める11.14市民集会」を星陵会館で開催しました。当日は340人が集まり、退職者連合からは6名が参加しました。



▲集会では、一日も早い給付型奨学金制度の導入を求めた

中央労福協では、貸与から給付へ、有利子から無利子への流れをつくり、よりよい奨学金制度に改善するために、今秋から来年の通常国会にかけて、関係省庁、国会議員、政党等への要請行動を行ないます。

また11月14日には、中央労福協などが主催して「奨学金制度の拡充を求める11.14市民集会」を星陵会館で開催しました。当日は340人が集まり、退職者連合からは6名が参加しました。

「安心の介護保険制度の確立と介護人材の処遇改善実現を求める11・11市民集会」に協力団体として参加。局長の主催者あいさつ、安心の介護保険制度づくり

「高齢社会をよくする女性の会」代表の樋口恵子氏の基調報告を受けて、介護を利用する高齢者の立場から、退職者連合の阿部保吉会長が登壇。「すべての国民が尊厳を持つて人生を全うする。そのためには介護保険制度が最も重要だ。質の高い介護保険制度を作るために努力していきたい」と参加者に訴えました。

この日の採択されたアピールでは、「働く者、サービスの利用者、利用者を支える家族、みんなが丸ごとになって、介護保険制度をよりよいものにするため、一人ひとりが声をあげ、行動しよう」と訴えており、安心の介護保険制度の確立に向けた「行動する退職者連合」の一層の奮起が求められています。(阿部会長あいさつは、退職者連合のHPを「覧ください」)



▲集会では、ともに「行動しよう」と誓いあった。円内は阿部会長。

川シニア) ・アベノミクスには「介護離職ゼロ」がうたわれているが、実証されているのか。在宅介護の充実といっても、介護休暇が取れない現状だ。制度はあっても使えない、絵に描いた餅となっているので

◇

は。(東京高退連) ・訪問介護で、生活援助と身体介護を切り離して考えることに問題があるのではないかと(自治退) (学習会資料は、退職者連合のHPに掲載しています)

◇

退職者連合65名が参加

退職者連合は、11月11日(金)18時30分からニッショールホール(都内・港区)で開催された連合主催の「安心の介護保険制度の確立と介護人材の処遇改善実現を求める11・11市民集会」に協力団体として参加。局長の主催者あいさつ、安心の介護保険制度づくり

「声をあげ、行動しよう」とのアピール採択

安心の介護保険制度の確立と介護人材の処遇改善実現を求める11・11市民集会

連合